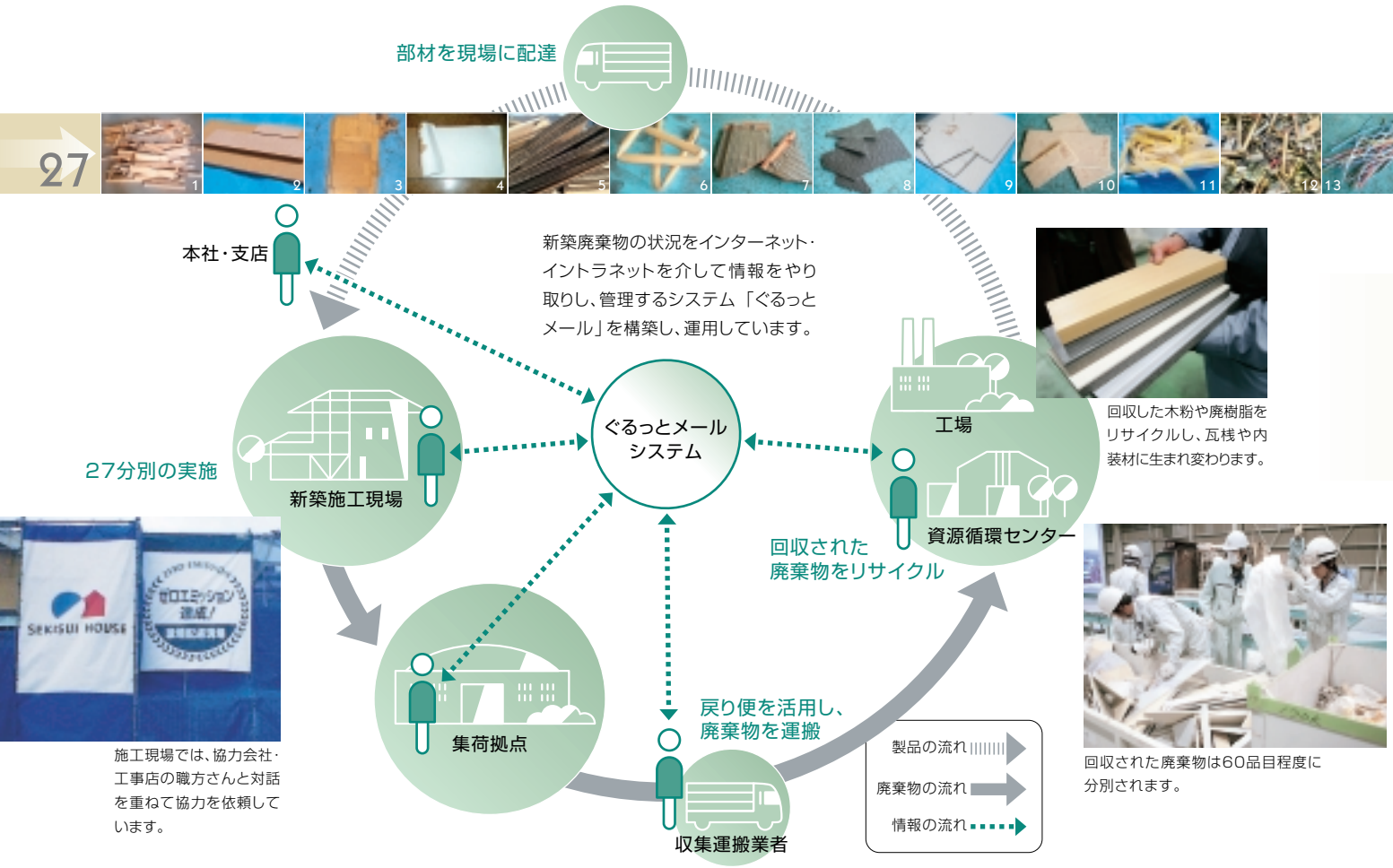
未来への責任 ハイライト 7 Highlight 2005

新築現場ゼロエミッション

廃棄物を出さないしくみを教えてください。

2005年7月に達成した新築現場のゼロエミッションは、「自然生態系の再生能力を超えない資源の利用」を指針に掲げる積水ハウスにとっての大きな一歩。達成以降もさらなる前進をつづけています。



回収した木粉や廃樹脂をリサイクルし、瓦桟や内装材に生まれ変わります。

施工現場では、協力会社・工事店の職方さんと対話を重ねて協力を依頼しています。

回収された廃棄物は60品目程度に分別されます。

リサイクルは現場から始まっている

一体どの程度分別したら良いのだろうか。積水ハウスの新築現場では現在、廃棄物を27品目に分別していますが、ゼロエミッションプロジェクトを開始した当初から分別ルールづくりに試行錯誤を重ねていました。新築現場では、使用する材料の加工端材や使用済み梱包材など、さまざまな材料が廃棄物として発生します。これらの分別はたいへん手間のかかる作業ですが、後工程で資源循環センターに運び込み、さらに細分化した分別やリサイクルを行うには最初の分別が不可欠です。協力会社・工事店の職方さんなど現場関係者一人ひとりとの対話を重ねて協力を依頼し、「責任を持って資源循環を進める」という共通意識のもと、全国の新築現場で着実にゼロエミッション活動を根付かせています。

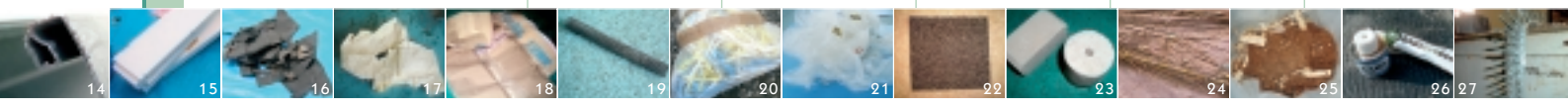
広域認定に基づいた回収システムの構築

ゼロエミッションや資源の循環利用を進める回収システムの要となるのが、資源循環センターや集荷拠点です。環境大臣の広域認定※1のもと、積水ハウス独自の回収システムを再構築し、自社の目の届く範囲で高度に管理できるようにしています。また、エリア内の新築現場から回収され、運ばれてくる廃棄物を管理するシステムとして、携帯電話やパソコンの端末から廃棄物の発生現場や発生量等の情報を入力し管理する「ぐるっとメールシステム」を開発し、確実で効率的な運用を行っています。

※1 製品の製造、販売をしたものが、その製品が廃棄物となった場合の回収やリサイクルを行う場合に、しくみが整備されているなど、環境大臣に認められた場合に限り、複数の都道府県にまたがる廃棄物移動に必要な各行政の許可が不要になるなど、廃棄物処理法の規制が緩和される特例制度。積水ハウスでは、2004年9月に「広域認定」を建設業界で初めて取得しました。

ゼロエミッションのあゆみ

	～2000	2001	2002	2003	2004	2005
国内外	廃棄物処理法 廃棄物の適正処理 1994.8 環境基本法 施行 環境と社会に対する基本的枠組み	2001.1 循環型社会形成推進基本法 施行	2001.4 マニフェスト伝票義務化 2002.5 建設リサイクル法施行 建築物リサイクルの促進	2003.4 広域認定制度		2005.7 排出業者の責任強化 2005.2 京都議定書発効
積水ハウス	1992 コンピュータ管理によるマニフェスト伝票の運用開始 1999.11 環境未来計画発表	2001 全工場でISO14001認証取得	2002.5 工場ゼロエミ達成	2003.4 新築ゼロエミ推進会議発足	2004.1 新築ゼロエミプロジェクトスタート 2004.9 広域認定取得	2005.7 新築ゼロエミ達成



リサイクル率 **100%**

廃棄物量

2000年度 2,893kg/棟

2005年度 1,884kg/棟

新築現場から排出される廃棄物を分別、回収して全量リサイクルする体制に切り替え、資源の循環利用を行っています。

終わりなき挑戦

積水ハウスのゼロエミッションの取り組みは、リサイクル業者に処理を委託することが目的ではありません。あくまで廃棄物発生量を減らすリデュースや、自社内で質の高いリサイクルを推進することが目的です。すでに資源循環センターでは、工場や現場から回収した木粉を廃樹脂と混ぜることで、さまざまな部材に再生し、活用し、新築現場で発生する廃棄物や余剰材を減らすよう改善を図っています。

また、処理段階での問題点を開発・設計部門に随時フィードバックし、設計・開発担当者の意識も高めています。今後も、リフォーム現場やカスタマーズセンターが請け負う修繕工事現場でのゼロエミッションに取り組むなど積水ハウスの終わりなき挑戦はつづきます。

環境会計

（百万円）

環境保全活動	環境保全コスト		経済効果	経済収支
	投資額	費用額		
新築施工現場のゼロエミッション	82	2,788	2,939	151

環境保全効果	
新築施工現場の廃棄物リサイクル量	60,900t

資源循環センターを見学して

積水ハウスの取り組みは、その理念、具体的な実践ともに素晴らしいと思う。全現場を統合して実施している点や、現場で分別した副産物をほかのものと混合することなくピュアなままセンターに搬入している点など、建設業界全体を通して見ても極めて優れている点が多くある。今後は、現場の資材管理状況を監視するシステムの確立を期待する。

早稲田大学大学院
アジア太平洋研究科教授
工学博士
椎野 潤氏

4つの価値Map

Web 協力工事店の育成 | 環境会計 | 資源の利用 | 工場ゼロエミッション | 新築現場における廃棄物削減 はWebをご覧ください。

未来への責任 ハイライト 8 Highlight 2005

ゆとりと豊かさ創出プロジェクト

ワーク・ライフ・バランスをどう考えていますか？

そこで働く従業員が輝いているかどうか。従業員の活力こそが企業の力の源です。積水ハウスでは、従業員が活力を持ちつづけられるよう、「ゆとりと豊かさ創出プロジェクト」に取り組んでいます。

ゆとりと豊かさ創出プロジェクト

いきいきとした活力あふれる会社でありつづけ、お客様に価値ある住まいづくりの提案ができる。そのためには、従業員が職務に追われるのではなく、仕事や人生に前向きな活力を持ち、家族をはじめ、周囲にも目配りができる「ゆとり」と、やりがい、生きがいといった精神的な充足感を得る「豊かさ」の両方をつねに持つことが欠かせません。

その改革の志を持ち、2005年2月、人材公募制度により全国の多職種から6名が、人事部に集いました。しかし、このプロジェクトの主役は、全国の事業所それぞれのプロジェクトメンバーであり、全従業員です。住宅の仕事は、お客様の一生の財産と暮らしに関わるため、お客様のご都合が優先されることが多くなります。そのため業務の効率化や残業時間の短縮は、簡単ではありません。そこで、全社目標や施策を掲げるだけでなく、全国の従業員が参加し対話をしながらの業務改革を進めることを重視しました。

このプロジェクトは、新たな価値を創出しつづける人材を育てる環境づくりと、その結果「人間力」の向上によって、お客様にも、従業員の家族や地域社会にも価値を創出できる人材を輩出しつづけることを目的にしています。

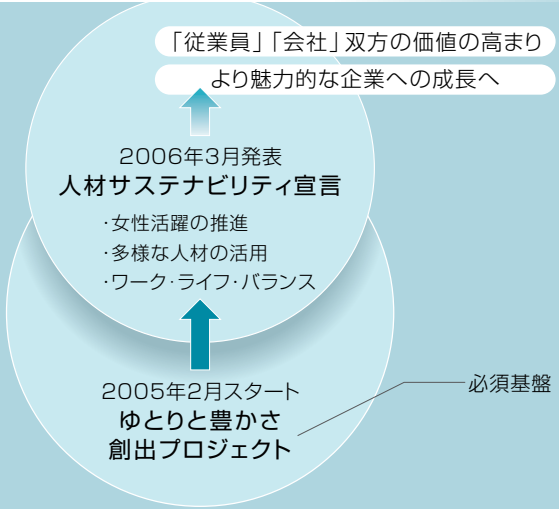
営業・設計・現場監督・管理・総務などチーム間の業務の連携のあり方や業務プロセスの見直しなど、課題は多岐にわたっています。月末の業務集中などまだ改革途中ですが、1年を経てゆっくりと着実に取り組みが進んでいます。

全国での実施数 148プロジェクト

積水ハウスは全社でこのプロジェクトを推進しています。

人材サステナビリティ宣言

「ゆとりと豊かさ創出プロジェクト」の
取り組みを一層推進しつつ、
これを基盤としてさらに人材の多様性を重視し、
従業員と企業が持続可能な成長を
はかっていける環境・しくみをつくり、
社会に対して持続的に
価値を提供しつづけることをめざし、
2006年3月に「人材サステナビリティ」を
人事基本方針として発表しました。



全社で展開している「ゆとりと豊かさ創出プロジェクト」。
全148プロジェクトの中から神戸支店のプロジェクトをご紹介します。

ゆとりと豊かさプロジェクトの打ち合わせでは、日常業務の見直しや、改善案を検討します。

神戸支店の取り組み

神戸支店では、営業活動、設計、積算、集計業務のほかに、スキルアップのための勉強会などが行われています。プロジェクトでは、業務の効率化を進める一歩として、各自が自由に現状の問題点をあげ、そのレベルを対応組織別に分類することから始めたあと、一つひとつ改善していきました。

このプロジェクトを進める中で、自然と所内のコミュニケーションが増えました。目に見える成果ではなくとも、確実に従業員の働き方や意識が変化してきています。さらに、設計部門との連携や業務の切り分けなど、部門を越えた大きな課題にも協力して取り組んでいます。また、このプロジェクトの取り組みが、女性営業社員の活躍の基礎となるよう役立てています。

まだまだ真のゆとりと豊かさには到達していませんが、本社推進部門と協力しながら一歩ずつ進んでいきます。

実践！私のゆとり

もっとゆとりができたら？
辞めてしまった
ギターに再挑戦します。

現場監督 **逢阪 俊介**

私にとってゆとりとは？
他の喜びを
我が喜びにできること。

山の街展示場　店長 **伊藤 みどり**

このプロジェクトがスタートして最も苦労したこと、それは全員の意識の統一でした。業務改善は個人で取り組むべきこと、支店あるいは全社で取り組むべきことが混在しており、全員の認識を統一した上で、進むべき方向が見出せるのかわからない状態で始まりました。業務の平準化など課題はまだありますが、1年間かけて取り組んできたことで、社員の意識は変革されています。このことは大きな収穫だと思います。

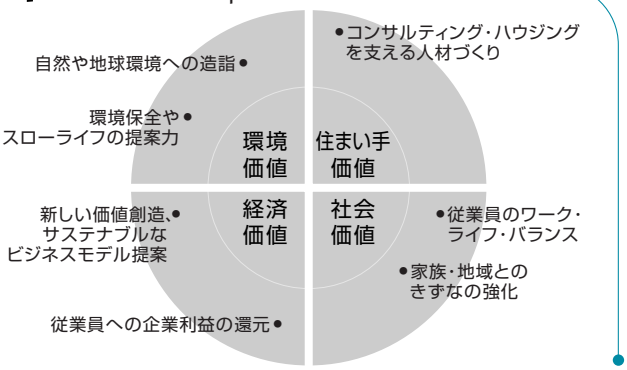
また、私自身、子どもが小さい間は家族中に助けてもらいながら働いていました。時間管理はいまだに悩むところではありますが、このプロジェクトによって後輩たちにも子育てと仕事の両立がしやすい職場環境になればと思います。

建築現場では、予期せぬ事態も起こります。そのような事態に素早く対応が取れるよう、手順の見直しを行いました。書類の整理、現場の状況把握のプロセスを明確化することで、効率が大幅にアップしました。以前は、対応に夜遅くまでかかっていましたが、夕方には事務所に戻り、事務処理に取り掛かれるようになりました。

帰宅後も家族とくつろげるようになり、心身ともにゆとりができたように思います。趣味はフットサルにテニス。休日は、1日を自分の趣味に、もう1日を家族にと、使い分けています。小さな子どもがいるので、定休日には私が面倒を見ています。

今後は、「発想力」と「段取り力」の両方を兼ね備えた社員に成長していきたいと考えています。

4つの価値Map



Web 人材サステナビリティ | 人材育成 | 従業員とのコミュニケーション | 労働安全衛生の考え方 | 人権問題への取り組み | 多様な働き方 | ゆとりと豊かさの創出 はWebをご覧ください。

未来への責任 ハイライト 9 Highlight 2005

匠の継承

確かな技術力をどのように引き継いでいますか?

良い住まいを建てるには、工場での高い品質管理にならび現場での施工技術が重要です。当社では、全国3カ所に技術研修センター・訓練校を設け、グループ会社、協力工事店が一丸となって次世代の職方さんの育成に取り組んでいます。

積水ハウスの技術と心を学ぶ技術研修センター・訓練校

滋賀県栗東市にある積水ハウスの訓練校。ここには、積水ハウスグループの中で施工を担う積和建設(株)や協力工事店の若い職方さんが集まり、積水ハウスの施工技術を学んでいます。

訓練カリキュラムには、作業器具の取り扱いや安全衛生などの基礎実技、施工現場で実際の作業の進め方を学ぶ専攻実技などが組み込まれ、実践的、先進的な技術を確実に習得することができます。

また、住まいづくりには技術だけでなく、暮らす人の快適さを想う豊かな人間性も求められます。訓練校では、全寮制を採用し、共同生活の中で周囲の人々との協調性やチームワークを学んだり、授業において社会人として大切なマナーや経済・文化に関する教養などを習得することで、人間的な魅力の向上も図っています。

滋賀県のほかにも、茨城県と山口県に同様の訓練校を持ち、これまでに訓練校を卒業した訓練生は累積1,462人に及びます。積水ハウスは、今後も高い技術力と豊かな人間性を持った職方さんの育成を進め、お客様にご満足いただける住まいをつくりつづけていきます。

訓練校(関西校)
全国3カ所の訓練校は公共職業訓練校に準じた位置付けを持つ認定職業能力開発校です。普通課程の訓練コース修了時の技能照査に合格すると、技能士補の資格を取得することができます。

積和建設北陸(株)
南 秀司

訓練生

早く現場でお客様の期待に応えたい

私は入社してすぐに訓練校に入りました。現場での施工経験はなかったので、実技の訓練は特に勉強になります。また、マニュアルには出ていない、工具の使い方のこつなどを教わることもできるのがうれしいですね。

卒業後は、「お客様の笑顔があふれる明るい家」をつくりたいと思っているのですが、何よりお客様にご満足いただき、喜んでいただけるように、自分の持っているものすべて出せるように取り組みます。そのためにも、訓練校で自分を磨いていきます。

卒業生の姿

現場ではさまざまな工程があり、多くの技術を覚えなければならないのですが、訓練校で基礎的な技術を学んだことがとても役立っています。

姫路積水ハウス協力会
神プレ建設(株)
難波 裕明(写真左)

訓練校では「お客様第一」の精神を学びました。お客様の夢をこわさないよう、1棟1棟心を込めて作業しています。

姫路積水ハウス協力会
神プレ建設(株)
大島 尚樹(写真右)

積和建設姫路（株）
内藤 豪

訓練生

学んだことを すべて活かせるように

訓練は実技が多いのでわかりやすいですね。廃棄物27分別などは、最初は面倒だなと思いましたが、ここまで徹底している積水ハウスの意気込みを感じました。安全面や現場の清掃についても徹底した指導を受けています。

訓練校で学んだことを活かし、「積水ハウスの家を安心して買ってください」と自信を持ってお客様にお伝えでき、お客様からは「積水ハウスの現場はきれいだ」と言っていただけるような現場づくりをめざします。

家づくりは、人づくり

訓練生には、技術や知識を身につけるとともに、マナーやルールなど幅広い教養を身につけてもらいたいと考えています。訓練生は、訓練を通じて家づくりの楽しさ、やりがいを感じながら、家づくりの技術を身につけます。また、寮での集団生活や訓練カリキュラムを通じ、しっかりとした人間力を身につけます。技術と人間力、両方を身につけてこそ、良い家づくりができると考え、訓練生を育てています。

関西技術研修センター
センター長
井筒 芳隆

誇りを持ち現場に羽ばたいて

以前、いつも時間に遅れがちな訓練生がいたのですが、厳しい訓練を積み、卒業する頃には見違えるように意欲的になりました。そして彼は卒業式での挨拶で、感極まって泣いてしまったのです。心にしみる式となりました。私は、訓練生の不安を少しでも取り除き、技術者としてのプライドを持って現場に羽ばたけるようにしたいと思っています。生徒を立派に育成し、積水ハウスの家づくりへの真摯な姿を示していきたいと思います。

関西技術研修センター
部長
山下 健一

訓練コースは、普通課程（10カ月）と短期課程（2カ月から5カ月）があります。普通課程では、一般住宅建築の基礎知識、積水ハウスについての専門知識、施工現場における安全衛生や社会人としてのマナー、内装、建方などの実習を行い、短期課程では、内装工事、外装工事、基礎工事を専門的に学びます。

基礎工事実習

内装工事実習

外装工事実習

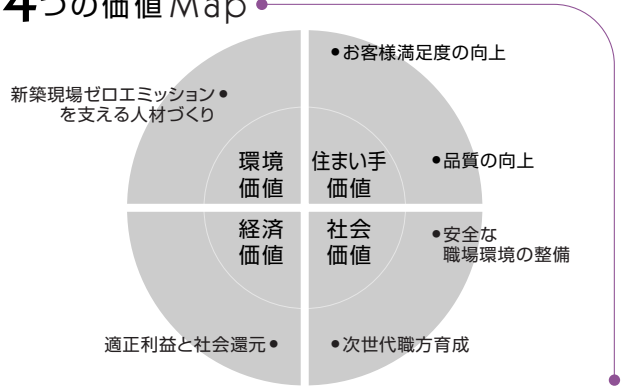
1,462人
訓練校卒業生数（1982年度から2005年度）

上司より一言

職方が高齢化していくので、技術を伝えるために若い大工を育てていくことの重要性を感じています。訓練校で学ぶことで、基礎的な技術に加え、積水ハウスに携わる人間としての心構えや、先輩の職方やお客様に対するマナーを身につけてくれることも良いですね。

神プレ建設（株）
代表取締役
谷綛 徹

4つの価値Map



Web 品質向上のための取り組み | 取引先との協働 | 協力工事店の育成 はWebをご覧ください。